



環元清血飲 (かんげんせいけついん) (冠心Ⅱ号方の変方)

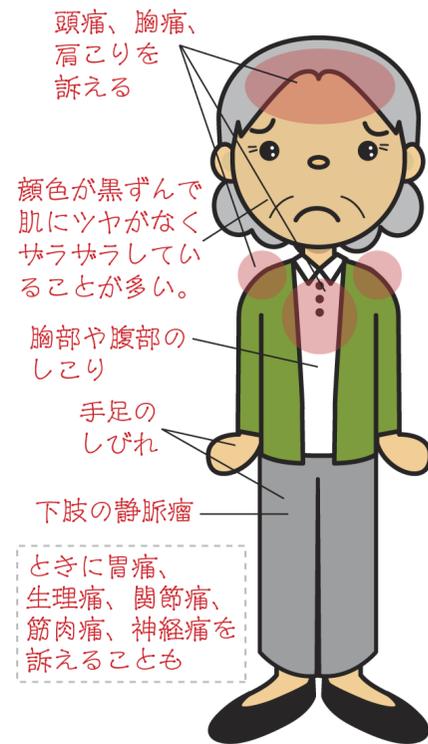
【処方コンセプト】 血の巡りが悪くて、痛みやしびれを訴える方に。

冠心Ⅱ号方は中国中医研究院が開発した活血化瘀剤（血流を改善する薬剤）である。方名（冠心Ⅱ号方）には狭心症、心筋梗塞など（中国語では冠心病という）の治療薬という意味が込められている。

◆ 瘀血の代表処方

瘀血とは血の流れが停滞する病態。環元清血飲は大半が活血化瘀薬（血流改善薬）から構成されており、瘀血による諸症状（疼痛、腫塊、出血など）に応用されている。

◆ 臨床応用



① 疼痛（主に頭、肩、胸などの痛み）漢方では「通(ツウ)ずれば則(スガ)ち痛(イ)まず、不通(フツウ)なれば則ち痛む」と言われ、血流が滞って瘀血になれば痛みが発生する考える。瘀血の痛みは刺痛（針で刺したような）が多く、また、固定性の痛みで部位が移動することは少ない。揉むとかえって痛んだり（拒按という）、夜間（冷えて）に痛みが増す特徴がある。

② 腫塊（しこり）ここでは血が停滞して動かず、定着して形成される腫塊を示す。一般に腹中の腫塊は積聚（シャクジュ）とよばれ、瘀血による「積」と気滞による「聚」とに区別される。血による「積」は固定して移動せず、おさえると強い痛みがあるという特徴がある。

③ 出血 瘀血による出血は、色が暗紫色で、血塊が混在することも多い。

④ その他 病気や老化の一因とされる活性酸素を除去したり、血栓を溶解する働きがあることから、現代人に多い生活習慣病への効果が期待されている。

【処方構成】6味

丹参（タンジン）は本方の主薬で、芍薬（シャクヤク）、川芎（センキュウ）、紅花（コウカ）の活血（血流改善）作用の生薬とともに血の巡りをよくして、瘀血を改善する。また、「気巡れば血も巡る」といわれるように、気の巡りをよくする木香（モッコウ）・香附子（コウブシ）で活血の働きを助けている。

タンジン
 シャクヤク
 センキュウ
 コウカ
 ┌───────────┐
 活血化瘀

モッコウ
 コウブシ
 ┌───────────┐
 理気止痛

	解表				清熱	利水	瀉下	補氣			理氣				補血		活血					配合生薬数											
	桂皮	防風	生姜	羌活	白芷	威靈仙	竜胆	茯苓	防己	蒼朮	大黃	芒硝	甘草	白朮	大棗	陳皮	枳実	烏薬	木香	香附子	当帰		芍薬	地黄	延胡索	丹参	牛膝	桃仁	紅花	牡丹皮	益母草	川芎	
環元清血飲																				○	○				○						○	6	
疎経活血湯		○	○	○	○	○	○	○	○				○		○						○	○	○			○	○					○	17
芎帰調血飲第一加減	○		乾					○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	21
桂枝茯苓丸	○							○														○					○	○					5
桃核承気湯	○										○	○	○														○						5

処方名	類方鑑別
環元清血飲	瘀血全般に用いることができるが、上半身の瘀血に繁用される。
疎経活血湯	手足の痛み、腰痛、関節痛など、経絡、筋骨の瘀血によい。
芎帰調血飲第一加減	女性の疲れに。イライラして、手足が冷える。産後、術後の瘀血によい。
桂枝茯苓丸	うっししやすく、下腹部に痛みを訴える。子宮の瘀血によい。
桃核承気湯	上記症状で便秘を伴う場合に。胃腸や子宮の瘀血によい。